

北大阪急行線延伸線が 令和5(2023)年度末に 開業!



箕面萱野駅の完成イメージ。11月からは、ホーム全体を覆う上屋の工事を進めています。

箕面市と北大阪急行電鉄は、北大阪急行線を千里中央駅から北へ約2.5km延伸し、船場地区に「箕面船場阪大前駅」を、かやの中央地区に「箕面萱野駅」を設置する事業を進めています。

平成28年に着工し、今年5月末には「箕面船場阪大前駅」から「千里中央駅」間のシールドトンネルが貫通し、「箕面萱野駅」までの高架橋と合わせて土木構造物が全区間にわたって繋がりました。現在、主に軌道や駅の建築工事などを進めており、これらの工事も順調に進んでいることから、北大阪急行線延伸線の開業時期が令和5(2023)年度末となりました。

延伸によって、市から大阪都心部へのダイレクトアクセスが可能になり、緑豊かな住宅都市・箕面に公共交通の利便性が加わることで、魅力がさらにアップします。まちの新しい姿にご期待ください!

今年5月、北大阪急行線延伸線の全区間(約2.5km)がトンネルや高架橋で繋がりました!

現在は令和5(2023)年度末の開業に向けて、線路の敷設工事や、駅舎の建築・設備工事などを行っています。

高架区間



8月末をもって全ての高架橋が完成しました。現在は線路の敷設工事を進めています。

箕面萱野駅

(イメージ)



箕面萱野駅は2階建てで、2階がプラットフォームになります。駅前には、地上3階の駅ビルを新設するほか、かやの広場と一体となったバス乗り場、タクシー乗り場などの交通広場を整備します。

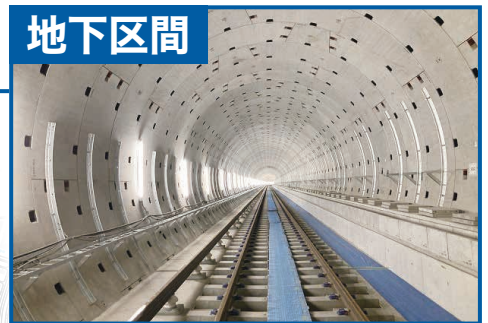
箕面船場阪大前駅

(イメージ)



箕面船場阪大前駅は、地下3階にプラットフォームがある地下駅になります。イベントにも利用できる駅前広場には、市民の憩いの場となるよう植栽やベンチ、芝生スペースを配置するほか、エレベーターやエスカレーターなどの昇降設備を整備します。

地下区間



令和元(2019)年秋に、「箕面船場阪大前駅」からシールドマシンによるトンネル掘削工事に着手し、今年5月末には「千里中央駅」の北端に到達しました。現在は、トンネル内の電気工事や線路の敷設工事などを進めています。

北大阪急行線の延伸工事や新駅周辺のまちづくりについて、詳しくは市ホームページ(QRコードからアクセス)をご覧ください。

